愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	杉谷 正次	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

情報化が急速に進展する現代社会において、情報化社会についての理解を深めていくには、技術的な側面はもとより様々な視点からのアプローチが必要不可欠となります。 そこで「総合演習Ⅱ」では、「日本の技術力を学ぶ」を基本テーマとして、わが国における産業技術の一端を学ぶとともに、そこで得られた知識をどのように有効活用することができるかについて考えます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行います。グループワークを積極的に取り入れ、ディスカッションをします。 実施方法の詳細については、初回授業で案内します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに本演習の目的と内容、授業の進め方等について説明する。	□
第2回	日本初・コンビニエンスストアーの誕生	日本初のコンビニエンスストアー誕生の舞台裏を映像資料から学ぶ。	□
第3回	カップめんの開発	世界中で食べられている「カップめん」の開発について映像資料から学ぶ。	□
第4回	国産コンピュータ開発への挑戦	日本コンピュータ産業の父とされる「池田敏雄」の挑戦を映像資料から学ぶ。	□
第5回	世界初・自動改札機の誕生	通勤ラッシュ対策とした「自動改札機」の開発について映像資料から学ぶ。	□
第6回	日本語ワープロはどのようにして作られたか	日本語ワードプロセッサーの開発について映像資料から学ぶ。	□
第7回	世界初・鉄道座席予約システムの開発	JRオンライン発券システム「みどりの窓口」、開発と実用化の挑戦について映像資料から学ぶ。	□
第8回	グーグル革命が与えた衝撃	世界のインターネット業界で衝撃を与えたグーグル革命を映像資料から学ぶ。	□
第9回	研究テーマの検討	各自が研究テーマを設定する。	□
第10回	研究テーマに関する研究（1）	各自が選択したテーマについて、レポートを作成する。	□
第11回	研究テーマに関する研究（2）	各自が選択したテーマについて、レポートを作成する。	□
第12回	レポート報告（1）	各自が作成したレポートの報告をし、全メンバーで討論する。	□
第13回	レポート報告（2）	各自が作成したレポートの報告をし、全メンバーで討論する。	□
第14回	研究発表	演習発表会で研究発表をする。	□
第15回	まとめ	後期の授業を総括する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習（予習）として、文献・資料・データ収集などの調べ学習をする（毎回2時間程度）。 また事後学習（復習）として、前回の授業の振り返りをする（毎回2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された課題・レポート・レポート報告については、教員およびゼミ生相互で講評を行うなど、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	現代社会に関連した事象を分析することによって、専門知識および技能を身につけるとともに、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	各自が選択したテーマについて幅広く思考し、その課題について多面的な判断し、他者に自分の考えを表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	本演習で学んだ知識・技能・思考力・判断力・表現力をもとに、主体的に他者と協働して問題解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

提出された課題・レポートを【授業内試験】の成績として評価（70点満点）し、授業参加・貢献度（グループワーク・ディスカッション・レポート報告など）を【その他】の成績として評価（30点満点）します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		